

令和4年度(2022年度)第6回長房中学校区地域づくり推進会議 議事概要

日時	令和4年(2022年)12月10日(土)9:30~12:00
場所	長房小学校 プレイルーム
出席者	参加者：縣、大田原、高坂、清水、鈴木、塚本、竹下、西山、野副、本堂、松崎、森、森本、山陰、山中 高齢者あんしん相談センター長房：小野 シルバーふらっと相談室長房：光富 はちまるサポート長房：河瀬 第1層生活支援コーディネーター：今泉 八王子地域 PAL-ETTE：小杉、松村 浅川地域事務所：清水 未来デザイン室：野田、安齋、牧瀬 (株)RPI：笠原、岩崎、中井、吉川
配付資料	・令和4年度(2022年度)第6回長房中学校区地域づくり推進会議資料 ・資料1 第5回長房中学校区地域づくり推進会議の検討結果(アクションプラン) ・資料2 地域フォーラムの意見交換内容 ・資料3 地域づくり推進計画(改定版)(案) ・イベント部会作成チラシ

1 開会

未来デザイン室から挨拶。

2 本日の議題確認

会議資料をもとに、本日の議題を確認するとともに、野副氏からイベント部会作成チラシについての説明を行った。説明概要は、以下のとおり。

- ・二次元コードを活用して、多くの情報を届けられるよう工夫した。チラシとして住民の興味関心を引くため、地域カルテに掲載する情報のうち、飲食店の情報を裏面に掲載した。今後の情報発信を行う際に活用いただきたい。

3 議題

(1) 運営担当打ち合わせの報告

会議資料3ページや資料1「第5回長房中学校区地域づくり推進会議の検討結果(アクションプラン)」、資料2「地域フォーラムの意見交換内容」などをもとに、アクションプランや推進会議のしくみなどに関する打ちあわせを11月26日(土)に行い、その結果について共有した。参加者からの意見は以下の通り。

- ・地域カルテを周知していくためには、以前から議論が出ているとおり全戸配布が必要ではないか。今後の方針(予算、周知方法等)を検討した方が良い。

運営担当と調整をさせていただき、改めて全体会で共有する。(未来デザイン室)

(2) 地域フォーラムの振り返り

会議資料3ページや資料2をもとに、地域フォーラムの振り返りを行った。参加者からの意見には以下のとおり。

- ・11月4日に中郷児童館及び長房児童館でイベントを開催した。内容は、グランドゴルフや輪投げなど、参加者は、300人～400人(スタッフ含め)となり、久しぶりに大規模なイベントとなった。気づいた点としては、小さい子どもをターゲットにすると家族ぐるみで参加してもらえること。来年以降にも広がりが期待できるだけではなく、推進会議でも一緒にできるところはやっていきたい。

(3) 部会の設定と推進会議のあり方を検討しよう

会議資料4ページをもとに、推進会議の体制や部会の構成役割について事務局より説明を行った。参加者との主な意見交換内容は以下のとおり。

- ・公共施設部会の記載があるが、現段階では存在していないのではないかと。
会議資料6ページに記載があるように、令和5年度(2023年度)に設置できるよう担当所管課との調整を進めている。詳細の説明は、第7回推進会議で行いたいと考えている。(未来デザイン室)
- ・義務教育学校を作るとの話がこれまで出ているが、通学区域がいまだに定義されないため、早期に調整してほしい。
通学区域のことに限らず、義務教育学校をつくるためには、様々なことを検討していく必要がある。公共施設部会が立ち上がった際には、様々な意見交換をさせていただきたい。また、通学区域については、改めて説明させていただきたい。(未来デザイン室)
- ・「長房大学」のしくみは、目的別教室に置き換えたということか。
「長房大学」の考え方として、目的別教室については、学部に見立てる方法と、部会を学部に見立てる方法があるが、運営担当打ち合わせにおいては、まずは、今後設置される部会運営を軌道に乗せるところから始め、実際にどうやって「長房大学」を活用していくのかは、今後改めて議論していくとの整理があったため、資料には掲載をしていない。「長房大学」の考え方そのものは、とても良いアイデアであり、形にしていけるとよい。(未来デザイン室)
- ・「長房大学」を提案した背景には、高齢者の技術等を発信できる場として、子どもがお年寄りから教わる場、学び合う象徴となればという意図がある。現在は中学校区の議論だが、境界線を設けずにいろいろな地域から長房のことを知りたい人が集まる場となれば良い。一般的な大学としては名乗れないので、その点には留意した方がよい。(第1層生活支援コーディネーター)
- ・地域食堂と目的別教室は、教え合う・支え合う場であるため、「支え合い部会」の取組とした。(未来デザイン室)
フリーマーケットとバザーでは、収益が出るかどうかで全く異なる取組。収益が上がれば、今後の活動資金になる。(参加者)
具体的な手法は、イベント部会で検討してはどうか。各部会が、どういう目的で、そのために何を実施するかを議論したうえで、目的にあう手法を探していきたい。(未来デザイン室)
- ・目的を明確にし、持続可能性の視点を持って収益等を考えていくべき。
フリーマーケットの実行に当たっては、体制や仕組みなど段階的に考えていく必要がある。収益の話も、今後取組を進めながら検討していく必要がある。(未来デザイン室)
- ・川口中学校区では、住民協議会と連携してマルシェを開催したため、収益が取れなかったが、今後は収益をあげていきたいとの話を聞いた。

川口中学校区の経緯としては、マルシェの実施にあたり、自分たちが単独で進めるには人数が足りないこと、補助金はハードルが高いことなどの課題があった。その中で住民協議会からの声掛けによって合同開催となった背景がある。住民協議会主催の市民センターまつりは既存の取組なので、会場確保など開催時の負担も少なく、地域における団体間連携の良いモデルになったと認識している。
(未来デザイン室)

- ・令和5年度(2023年度)以降は、資料に記載する4つの部会(情報発信、イベント、支えあい、未来への学校づくり)を設置・運営することでよいか。(未来デザイン室)

異議なし

会議資料5ページをもとに、令和5年度(2023年度)からの推進会議の活動について事務局より説明を行った。参加者との主な意見交換内容は以下のとおり。

- ・現行の推進会議は、メンバー入れ替えや追加を行った結果、23名が常時参加をしていただく方として登録している。これまでは、登録する方すべてを全体会の参加者としていたが、令和5年度(2023年度)に向けては、推進会議に参加しやすくする仕組みとして、関わり方を参加者ごとに選べるようにしたいと考えている。(未来デザイン室)
- ・連絡体制に関して、事務局による郵送連絡ではタイムラグが生じる。部会で使っている連絡方法を活用することで、より早く情報を共有できるため、令和5年度(2023年度)以降は、そのように変えていきたい。(未来デザイン室)
- ・新しい参加者について年齢の制限等はあるのか。中学生の参加も想定しておく必要がある。
基本的に参加希望者は拒まない。小学校1年生でも入れても良いのでは。(未来デザイン室)
- ・本日は、4つの部会で活動するという考え方を共有した。第7回推進会議の前にアンケートを実施し、参加したい部会や関わり方の希望等を確認する予定。アンケートをもとに全体会で諮り、部会への参加体制を調整する流れを想定している。(未来デザイン室)
- ・収益は重要な点。長房中学校区において仮にマルシェを開催した際に、出店者は収益をあげて良いのか。(第1層生活支援コーディネーター)
継続的な活動のために資金管理を行うためには、会計の仕組みを整えることが必要である。(未来デザイン室)
収益を理由に、活動の制約にならないようにした方が良い。(第1層生活支援コーディネーター)

(4) アクションプランを検討しよう

資料1及び資料2をもとに、アクションプランの実施内容を部会ごとに分かれて検討を行った。検討後全体で共有した発表概要は以下の通り。

【情報発信】

- ・世代感のつながりと地域への貢献を目的とした部会であることを再認識した。
- ・コピー長房を活用して発信したい。試行的にSNSで地域情報を発信してみたが、フォローする側とフォロワー側の個人情報がわかってしまうなどの課題が判明した。
- ・発信内容の審査方法を厳しくすると、SNSのメリットである即時性が生かせない。
- ・既存の紙媒体(回覧板、会報等)も大切で、電子媒体での発信と2本柱で進めることが重要。
- ・何を発信するか、コンテンツ(内容)が重要。その際、情報を集める 掲載の承諾 掲載の流れができていないため、まずは、仕組みづくりが必要。
- ・部会の人手が不足している。仲間の募集に関するコンテンツにするのも良いかもしれない。

【イベント】

- ・目的・効果として、「新旧の人が知り合うため」を目的としたいとの意見が出た。
- ・ハロウィンイベントは来年も開催する。既存の東団地の取組を広げていきたい。最終的には、交番の北側にある敷地で実施することを目標にする。
- ・フリーマーケットは、なんでもやって良いものにしたいという思いから、「マルシェ」に変更。
- ・ハロウィンをきっかけに地域づくりを地域全体に周知し、大きなイベントとしてマルシェを開催するという形で連携させていきたい。
- ・長房地区全体の納涼祭をやりたいという声もあった。
- ・地域に暮らす外国人を対象としたイベントを考えても良いとの意見もあった。
- ・小中学生を主体としたイベントを既にやっているとのことで、これも規模を大きくしてやっていきたい。
- ・令和5年度（2023年度）には、長房中学校と船田小学校が開校50周年を迎えるため、その記念として打ち上げ花火をやりたい。現在、地域との情報交換を行っている。
- ・まずは、イベントについての情報収集や勉強から始める。令和5年度（2023年度）からイベント（マルシェ等）を始めていきたい。

【地域の支え合い】

- ・目的と効果は変更なし。
- ・地域食堂は、小さい単位ではあるが、アルプスと東団地で話を進めている。検討内容を確認し、12月14日に改めてアルプスとの話し合いを行う。本日の内容をアルプスと共有したい。
- ・スケジュールは、地域食堂は令和4年度（2022年度）中に試行し、令和5年度（2023年度）は月1回で開催する予定としたい。子どもだけでなく、「みんなの食堂」とする。会員制にして人数を把握し、料金は子ども50円、大人200円程度を考えている。開催場所としてコピオ長房、パーゼル等の利用も検討していきたい。
- ・軌道に乗れば、東団地の高齢者サロンと共同運営の考え方もあるかもしれない。
- ・アルプスにフードバンクの食材リストを提供してもらい、手に入る食材の種類や量を確認する。野菜は食品ロスで手に入らない場合、地域の農家へ野菜の提供をお願いすることを考えている。
- ・地域防災教室はイベントで実施済みであり、令和5年度（2023年度）は定着を目指し、令和6年度（2024年度）は拡大を予定する。
- ・目的別教室の中で、金融関係の教室開催も検討していきたい。

（5）活動の共有

自治研究センターと市民活動協議会で開催するフォーラムについて情報共有を行った。登壇者として参加した森氏から当日の様子を共有した。主な共有内容は、以下のとおり。

- ・2040年に向けたまちづくりのモデルとなっている長房中学校区の話をした。
- ・ともに参加した川口中学校区の方からは、地域が広いので大変という話も聞いた。長房はコンパクトさを利用してしっかりと進んでいる。
- ・地域カルテについて「地域に周知できているか」という質問もあり、PRの大切さを再認識した。
- ・コピオの掲示板にも地域マップを掲載されている。皆さんもぜひ見に行ってください。（参加者）

4 閉会

以下の内容について連絡を行った。

【連絡事項】

- ・第5回推進会議の議事概要（案）について、修正等がある場合は、12月16日（金）までに未来デザイン室へ御連絡をいただきたい。
- ・令和5年（2023年）1月28日に市全体を対象とする「地域づくりフォーラム」を開催する。モデル地区の取組も紹介する予定。
- ・協力いただいた動画は現在作成中、公開は「地域づくりフォーラム」でお披露目後、第7回推進会議で改めて情報を共有させていただくので、ぜひ御覧いただきたい。
- ・第7回推進会議の開催日程を確認した。

第7回推進会議：令和5年（2023年）2月4日（土）9:30～12:00

以上